



高中だより



令和3年 12月 15日

12月号

杉並区立高井戸中学校

杉並区高井戸東1-28-1

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaidochu>

教育目標 ゆたかな人 ねばり強い人 たくましい人 よく考える人

気づきから新たな自分へ

主幹教諭 佐藤 弘太郎

師走も半ばを過ぎ、冷気に身の引き締まる季節となりました。

先日の教育相談(三者面談)につきましてはお忙しい中、ご来校くださりありがとうございました。生徒の表情は様々でしたが、今年度の自分を振り返るとても有意義な時間となりました。

さて、「振り返り」をする際、「反省する」という言葉をよく聞きます。「反省」とは「失敗を反省する」や「反省の色が見られない」といったように、自身の良くなかった点(マイナス面)を改める場面で使うことが多いです。それも大切ですが、良かったこと、上手くいったこと等を振り返ることも大切です。そのようなプラス面、マイナス面を多面的、多角的に振り返ることを「省察(せいさつ)」と言います。

教育相談では、自己の学習面、生活面を客観的に「省察」するととても良い機会だったと思います。そこでの気づきをもとに、目標を立てるだけでなく、実行することが重要です。また、自己確認を習慣化し、日々を自覚的に過ごすことも重要です。今後も、一段上の自分を目指し、努力を続けていってください。

さて、ここで有名な「ジョハリの窓」のお話をします。下の表のように、自身が知る「自分」とは下の図におけるA「開放の窓」とC「秘密の窓」の部分だけです。つまり、自分では気づいていない窓が2つあるのです。

例えば、B「盲点の窓」では、自分は気づかない「自分はこうだ」と思っている、他から見れば違うことがあります。

また、D「未知の窓」では、自分も他人も気づいていない所、つまり自身の気づかなかった能力・才能が隠されていることがあります。

いずれにせよ、それらの窓を知ることで新たな可能性が拓けていきます。では、D「未知の窓」はどうやって探していくのか。それは新たな挑戦をすることで見つかる可能性は上がっていきます。今までできなかったこと、やってみたいのにやれなかったこと、やるべきだとは分かっていたけれど避けてきたことがあるかも知れません。

ジョハリの窓

	自分は知っている	自分は気づいていない
他人は知っている	A【開放の窓】 自分も他人も知っている自己	B【盲点の窓】 自分は気づいていないが他人は知っている自己
他人は気づいていない	C【秘密の窓】 自分は知っているが他人は気づいていない自己	D【未知の窓】 誰からもまだ知られていない自己

丑年もあとわずか、振り返りから得た気づきを通して、新年の良いスタートを切れるよう準備を早目に行ってください。

この一年間、本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をくださりありがとうございました。来年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

言葉遣いについて

最近、生徒が先生を訪ねて職員室に来室したときに、次のような言い方をすることがあります。（実はとても多いです）

「高橋先生っていますか？」 当の高橋先生が在室の時は必ず「って言うな！」と指導しています。在室していないときも、それを聞いた教員は必ず指導します。

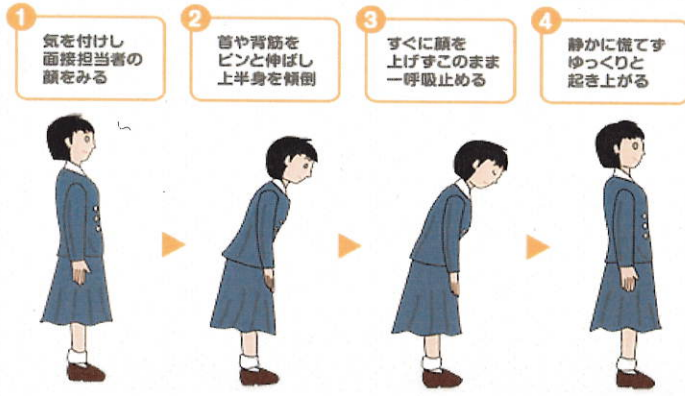
この「って」ことばを国語辞典で調べると、いろいろな用法が載っています。最近スマホを利用することが多かったため、久しぶりに国語辞典を引いてみると新しい発見があり、楽しかったので、ぜひ皆さんも調べてみることをお勧めします。

さて、「ーって」ですが、三省堂の新明解国語辞典では、「助詞的に使う」用法がいくつか載っており、その例をいくつか挙げてみると・・・
「彼が主役だって言ってましたよ」「腕は日本一だって噂だ」「明日は雨だってさ」「今から行ったって間に合いこないさ」などなど。どの辞典でも似たようなことが書いてありますが、どの辞典でも最後には「親しい間柄で使われる言葉」「打ち解けた関係で使う言葉」とあります。要するに「って」は友達同士で使う言葉なのです。使っている生徒はそこまで考えて使っているとは思いませんが・・・

先生と生徒との間柄は、親しく、互いに信頼していることが望ましいのですが、職員室で先生を呼び出すときの言葉がけとして果たしてふさわしいでしょうか？先生方が注意するところはそこなのです。「親しき仲にも礼儀あり」といいます。職員室で目上の人にかける言葉として、ふさわしい言葉を使ってほしいものです。

ところで、今3年生は高校入試のために面接練習を行なっています。所作や質問への答え方などを練習しますが、面接の時だけ丁寧な言葉を使おうと思っても上手くいかないものです。日ごろから、礼儀作法や場に合った言葉の使い方をぜひ心がけておきましょう。3年生だけでなく1・2年生も同様です。

「高橋先生はいらっしゃいますか」と自然と言えるようにしてください。



食べれば栄養 食べ残しはただのゴミ ～身近な食品ロスを考える～



11月25日(月)の給食に、ししゃもが出ました。給食室の皆さんが丹精をこめて準備してくださったもので、ぷりりと実が張り、ちょうど良い塩気が効いていて、卵もたっぷり詰まっているとてもおいしいものでした。

しかし、大量の残食が出てしまいました。尾数で言うと140尾、カルシウムにしたらなんと22日分です。本校栄養士の高橋さんは「最近体育など骨折をする人が多いから、カルシウムを取って欲しいと思って献立を考えた。」とおっしゃっていました。

2尾が多いなら1尾だけ！頭が苦手ならしっぽの方だけ！でいいのでししゃもを食べてみてください。おうちの食卓にししゃもがのぼる機会が多くなるといいですね。

さて、12月1日にでたししゃものフライの残食は41匹でした。身近な問題として残食について考えて欲しいです。

January schedule

月日	曜日	給食	行事予定
1	土		元日
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		冬季休業日終
8	土		
9	日		
10	月		成人の日
11	火	×	始業式
12	水	○	読書週間始 専門委員会
13	木	○	中央委員会
14	金	○	
15	土	×	土曜授業 キャリアガイダンス
16	日		
17	月	○	
18	火	○	安全指導
19	水	○	避難訓練
20	木	○	アンネのバラ委員会 読書週間終
21	金	○	
22	土		
23	日		
24	月	○	朝礼
25	火	○	スキー事前健康相談
26	水	○	都立推薦入試
27	木	○	都立推薦入試
28	金	○	
29	土		
30	日		
31	月	○	